

事務局便り

第95号（令和4年2月）

【英霊に敬意を！日本に誇りを！】

近畿偕行会

巻頭言

武漢ウィールスを撲滅し得ず、変異株オミクロンの出現により、先が見通せない状況ですが、希望は大きく・明るく、月遅れのご挨拶を致します。

「新年明けましておめでとうございます。今年も皆様にとりまして幸多き年でありますことをご祈念申し上げます」

本号は、令和3年度の最終版です。

本年度亡くなられた会員の方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。

また、諸事情により本年度末に退会される方には永らくのご協力を感謝いたしますと共に、今後のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。

本年度は皆様のご協力で、まずまずの会の運営が出来ました事を感謝いたします。来年度も引き続きよろしくお願い致します。（加賀本）

案内・紹介事項

軍神緒方中佐慰霊碑清掃・慰霊行事案内

3月下旬（実施日未定：参加希望者には確定次第連絡します）11：00ごろから、神戸市再度山太

龍寺に所在します軍神緒方中佐（陸士53期）の慰霊碑の清掃・慰霊行事を予定しています。

同中佐は、昭和20年3月17日未明神戸市を爆撃のため襲来したB29に体当たり、同寺の近傍に墜し、自らも戦死されました。

本行事は、毎年陸上自衛隊八尾駐屯地修親会が主催し近畿偕行会が共催しているものです。

神戸市中央区の再度山太龍寺境内にある同中佐の慰霊碑前で執り行われます。参加費は無料です。可能ならば行事後、現役自衛官との昼食会（参加

自由：会費1500円程度）を計画したいと思っております。

お志のある方は、3月10日（木）までに事務局

長の熊谷までお知らせください。

連絡先：事務局長 熊谷 勉

☎：078-952-306

090-3844-3296

高野山昭和殉難者法務死追悼年次法要案内

4月29日（金：昭和節）午前11時から第27回昭和殉難者法務死追悼年次法要を高野山奥之院の慰霊碑前で執り行いたいと計画しております。

御導師 高野山真言宗管長総本山金剛峯寺 座主 大僧正葛西光義猊下、各寺院御導師御出仕を頂き、祭主は近畿偕行会会長 加賀本 昭雄並びに昭和殉難者法務死追悼碑を守る会会長 築野 富美で、先の大戦で不当な戦争裁判により、尊い犠牲になられたご英霊一千百八十柱の御霊に哀悼の意を捧げる法要です。

多数のご参列をお願い致します。

細部御案内は、4月発刊の次号『事務局便り96号』にてさせていただきます。

担当 熊谷

令和4年度総会開催案内

5月19日（木）10：00から総会を、以下の内容で予定しています。

○場所は元大阪市迎賓館「THE ORIENTAL GARDEN OOSAKA」「パークルーム」（一昨年度と同じ場所）です。

○講演講師・演題は未定です。

○陸上自衛隊中部方面音楽隊の演奏があります。

○料理は「THE GARDEN ORIENTAL OSAKA」自慢のイタリア料理です。

好評の料理と飲み放題をご堪能下さい。

細部御案内は、4月発刊の次号『事務局便り96号』にてさせていただきます。

担当 加賀本

令和4年第3回理事会案内

1月27日に予定していました令和3年度第3回理事会は、2月17日(木)に延期し、16:00～17:00で開催を予定しております。理事の方には、別途ご案内致します。

担当 熊谷

令和4年2月・3月度歴史研究会

令和4年2月・3月度の歴史研究会は、以下で予定します。

何方でも参加できます。志のある方をお誘い下さい。

また、ライフワーク等の研究発表の場としても大いにご活用下さい。

場所は、神戸大学凌霜クラブ(06-6345-1150)大阪駅前第1ビル11階南側です。

講義・ディスカッション後、軽食懇親会をします。多くの方のご参加をお待ちしております。参加を希望される方は、食事準備の都合もありますので、**4日前までに**加賀本までご連絡ください。必要費用は、軽食会食費代で3000円程度です。

担当 加賀本

Tel: 072-785-8954 携帯 090-1241-8877

Mail: akio@room.ocn.ne.jp

2月度

日時: 2月17日(木) 18～20時

内容: 『令和3年度政策提言書』です。

熊谷事務局長に担当して頂きます。

本提言書は、隊友会が昭和47年以降毎年行ってきた政策提言に、平成28年度から偕行社、水交會、つばさ会が加わり、志を同じくする4団体合同で作成したもので、本年は10項目の提言をしています。

軍事専門家であると自負する自衛官OBの危機意識とその解決策となるであろう提案を理解して頂

き、大いにディスカッションしましょう。

3月度

日時: 3月24日(木) 18～20時

内容: 『インドから見た対中関係の変遷と、日本のアジア外交のあり方について』です。

賛助会員の京都大学法学博士: 岡本幸治先生に担当して頂きます。

先生はインド関係の専門家として、アジア、特に近年台頭しつつある中・印と、それに対する祖国日本の対応の在り方について関心を抱かれてこられました。

今次歴史研究会においては、

1. 独立以後のインドと共産中国の関係は今日迄どのように変遷してきたか。
2. それに対して日本はどのように対応してきたかを、インドに力点をおきつつ概説して頂き
3. 新世紀における祖国日本のアジア外交のあり方について私見を披露して頂きます。

我が国が今後協力関係を深めるべきインド関連の視点からのご意見を踏まえ、大いにディスカッションしましょう。

令和3年度会費納入のお願い

令和3年度会費納入の**最後**のお願いをします。

本会の「振込取扱票」が同封されている方は、会費未納の方です。

会費は、近畿偕行会を維持し、活動を円滑かつ効果的に運営するための軍資金です。

苦しい財政状況です。窮状をご理解の上、納入頂けます様、宜しくお願い致します。

不明な点は、下記までご連絡下さい。

会計理事: 加賀本 昭雄

Tel: 072-785-8954 携帯: 090-1241-8877

Mail: akio@room.ocn.ne.jp

なお、**令和3年2月28日までに**お振込の**無い場合は**、退会の御意志と判断させて頂き、永年に亘りご支援ご協力頂いた方に対し誠に心苦しく、申し訳ありませんが、事後の連絡を中止させて頂き

ます。

担当 加賀本

会員増勢のお願い

ご遺族・戦友が亡くなられて行く中、戦没英霊慰霊の灯を消してはなりません。国のため命を捧げた英霊に対する感謝を忘れ、祖国への誇りを持っていない国民、その国は亡びると言います。

令和3年度末で、会員数は120名を割りこむ予想です。

「英霊に敬意を！日本に誇りを！」をモットーとする崇高な使命を有する近畿偕行会を潰してはなりません。何としても盛り上げねばなりません。解決策は、一に、会員の増勢を図る他ありません。◎帝国陸軍関係会員の皆様には、ご子弟、お孫さんを家族会員に！！

◎自衛隊OB会員の皆様には、同期生・後輩を正会員に！！子弟を家族会員に！！

◎本会の趣旨に共鳴する、身近にいる、志ある草莽の士を発掘し、賛助会員に！！

ご協力を衷心よりお願い致します。

情報を頂ければ、事務局で対応いたします。

担当 加賀本

正会員 松田小牧女史

著作「防大女子」発刊

防大55期卒の正会員松田小牧女史が、ワニブックス社から「防大女子」を発刊しました。

究極の男性組織に飛び込んだ女性たちの青春・本音・課題等その姿を自らの経験と詳細な取材で描き出した好著です。

真に自衛隊の事を思うならば、ありのまま現実を伝えることが一番との信念に基づき「実際の防大女子」の姿を描き出している。彼女たちはなぜ防大に入り、防大でどんな生活を送っているのか。

卒業後、彼女たちが自衛隊生活の中で喜び、悲しむのはいったい何が原因か・・・

少子高齢化時代における女性が活躍し易い方策を考える資としても参考になると思料します。

ワニブックス PLUS 新書：990円（税込）です。ご一読ください。

報告事項

第2回特攻慰霊祭理事会

令和3年12月4日（土）15：00～17：00 大阪護国神社儀式殿にて特攻勇士顕彰会の第2回理事会を実施し、10月24日に行った第13回特攻勇士慰霊祭の実施状況報告、収支決算報告及び反省会を実施しました。

参加者は、神社側から藤江宮司、近畿偕行会から加賀本会長、盛田・小山みどり各理事および熊谷事務局長、関西防衛を支える会の奥事務局長、日本人の心を伝える会から工藤皇・池田実両理事、音響設備を担当していただいている三浦理事の9名でした。

今年度も、会場設営を宮司以下護国神社側の多大なご協力の下、顕彰会会員で実施した結果、健全財政を継続する事が出来て今後の明るい目途が見えて来ました。

また、雨天時の実施要領の決定も出来ました。

担当 熊谷

会外行事参加報告・紹介案内

参加報告

今期はありません

紹介案内

皇紀2682年紀元祭

2月11日(金)10：30から橿原神宮（奈良県橿原市）において、勅使をお迎えして皇紀2682年紀元祭が執り行われる予定でしたが、武漢ウィルス・オミクロン株禍のため宮司以下奉仕員、役員、総代及び各代表のみの斎行となりました。

和歌山偕行会便り

伊藤貫氏は、ワシントン DC に30年来住む米国通です。氏の考え方に興味を覚え、著書「中国の核は世界を制す」を読みました

がとても参考になりました。

氏の推奨する著書「村田良平回想録」も読み、これにも啓蒙されました。村田氏は、岡崎久彦氏と同期で、そのトップでした。興味深いのは、村田・伊藤氏ともに、核武装論者です。殊に、伊藤氏は、日本は核武装国、中国、北朝鮮、ロシア、米国に囲まれおり、中国、北朝鮮の脅威を考慮すれば、独立自存態勢を確立すべきで、核武装を論議し、選択肢の一つとしないのは、「不道德」であるとさえ断言します。真剣に、国民・国土を守る気はあるのか？という鋭い提言です。米国の日本に対するドクトリンに通暁しているだけに説得力があります。さて、昨年、10月10日のワシントン・ポスト紙に、ダートマス大学の政治学者、ジェニファー・リンド、ダリル・プレス両教授が、「韓国が核武装準備か？そして、このことは正しいとは云わないまでも、止むを得ないことだと評し、米国政府も支持すべきだ」との記事を寄稿したようです。

米国には、独立国が生き残る術を、客観的に国益重視で、自由闊達に議論出来る風土があります。

国際政治を論じる場合、上位概念として、「哲学的・宗教的・道徳的・倫理的」に考察することが極めて重要だと強調します。

マルクス主義も、最上位概念として「ユートピアの実現」を掲げているのは、人類を魅了する最大要因であると考えられます。それを、実現する為の枠組みが、パラダイムです。

国際政治には6つのパラダイムがあります。リベラル派として、相互依存派、制度学派、民主的平和の理論の3つ、そして、保守派として、攻撃的なパラダイム、防御的なパラダイム、派遣安定論の3つです。

伊藤氏は、米国歴代政権の採用したパラダイムを評価し、何れも失敗したと論じます。各政権が、どのパラダイムを採用し、どの様

に失敗したかは、冗長になるので割愛します。氏は、防御的なパラダイムが一番好ましく、日本は、これを採用すべきと主張します。詰まり、核兵器は「防御的・抑止的兵器」と認識している訳です。パラダイムの下位概念が、「政策・ドクトリン」レベルでの考察です。日本では、以上の様な体系的・総合的な防衛議論の枠組みが皆無です。自衛隊の若き幹部の皆さんには、是非とも研究して頂きたいと思います。

加瀬英明氏は、「日本は今、第二の明治維新を迎えている」と発言しています。

私も、そろそろ、日本は真の独立を考える時期に来ていると思います。

是非とも、今年は、憲法改正元年にしたいものです。

(和歌山偕行会前会長 奥野耕三氏)

編集後記

今期も武漢ウィルス変異株オミクロンのため、未だに多くの催し企画が影響を受けています。頑張っているアスリート達には申し訳ないが、中共における冬季北京オリンピックこそ中止になって欲しいものです。

我々老いた身には寒さがこたえるこの頃ですが、早く暖かくなり、武漢ウィルスの悪疫が死滅するのを待つばかりです。

春はそこまで来ています。元気を出して、近づく春を待ちましょう！

担当 加賀本

近 畿 偕 行 会

会 長 加賀本 昭雄

編集責任者 熊谷 勉

〒651-1513 神戸市鹿の子台北町3-1-4-201

Tel & Fax:078-952-3063

編集委員 加賀本 昭雄

〒664-0012 伊丹市緑ヶ丘2-97

Tel:072-785-8954